



# あなたと変える長野県政

## 市民全体への奉仕者に徹して

市職員として農政課、農業共済課、農業委員会事務局、収税課、清掃事務所・クリーンセンター業務係長を最後に退職。収税課では、税金を払えない市民の悩みを直接出向き相談に。清掃事務所では、ゴミ収集車に乗り込み、実態を把握、上田市のゴミ減量化を先頭に立って切り開く。この実践は、全国の教訓となり、各地を講演して回ることも。日本科学者会議の会員にも推薦される。

市職員25年、市議19年、一貫して金井さんを貫く信条は、「住民に寄り添う行政の実現」です。

## 生い立ち

1950年上田市生まれ。6歳で父親を亡くし、苦勞するなかで、「農家の跡継ぎ」の自覚で上田東高校に進学、卒業後上田市役所に就職し、25年間勤務。

家族は妻と2男1女（それぞれ独立）。上田市在住。農業を営む。

# 金井忠一 さんは こんな人

## 市議19年間、福祉・医療の充実めざす

介護問題の勉強にデンマークやスウェーデンへ、リサイクルシステムを学ぶためにドイツやスウェーデンを自費で視察し、市政に生かそうとする抜群の行動力。

前市長が上田市産院の廃止を打ち出したとき、お母さんたちの存続運動と情報交換しながら、市議会で論陣をはり、産院の存続・発展で上田市産婦人科病院を実現。信州上田医療センターの医師不足解消に市議会の地域医療対策特別委員長として奔走し、増員を実現しました。

## ズクを借しまない人

市議時代からの生活相談件数は3000件を超えます。相談を受けると「すぐ解決」をモットーに「すぐ行動」。そのエネルギッシュな行動力に「忠ちゃん」の愛称で地域からも慕われ、PTA会長や自治会長なども歴任しています。



## 上田市長選ではゴミ、学校給食を大争点に

上田市長選挙に2回立候補。今年3月の市長選挙では、耐用年数のすぎたゴミ焼却場の早期建設と1万食学校給食センターの見直しを訴え、給食の自校方式へ方向に。

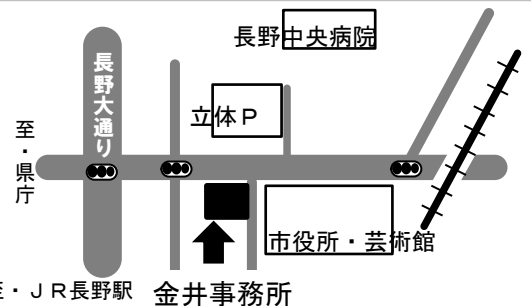
## 県民の生活と健康を守る運動の先頭に

2016年から、長野県生活と健康を守る会連合会会長として、福祉灯油の実現、国民健康保険料の値下げなどを県に要望し、県民の格差と貧困を解消する運動にとりくんでいます。

**金井事務所が  
決まりました!**

## 事務所びらき にお集まり下さい

6月14日(木) 午後6時  
長野市鶴賀緑町 1607



## 県知事選勝利総決起集会

6月24日(日) 12時30分開場  
松本市・キッセイ文化ホール